

平成29年度 第1回 東洋大学 優秀教育活動賞



東洋大学

佐野 聖香 准教授

現代のグローバル経済社会の実情を、食料事情の観点から接近し理解を深めるゼミナール。国内外におけるフィールドワークに注力しており、理論を中心とした座学だけでは満たせない「現実」を知ることで学生の深い問題意識、課題解決行動力を生み出しています。フィールドワークを有意義なものにするために、学生のゼミ時間外での準備学習がとて多いことや、成果物である卒業論文の提出率の高さ、学科の優秀論文としての表彰者数などを総合して受賞に至りました。

Comment

このような賞を受賞でき大変うれしく思っております。今後も学生らと共に学んでいきたいです。ありがとうございます。



カンボジアマングローブ植林事業への参加(佐野先生)

澁澤 健太郎 教授

理論経済学を、実経済に照らして考え学ぶゼミナール。為替の変動予想や会社訪問などを交え、常にディスカッションを行い、考え続ける工夫がされています。様々な全国規模の大会等で華々しい成績を挙げるなど実力に加えて、本学の広報にも多大な貢献をしています。



Comment

東洋大学の専任教員の数は経済学部だけでも約70名います。今回、膨大な教育活動の中で最初の優秀教育活動賞を受賞することができて、大変嬉しく思っています。「井の中の蛙大海を知らず」という言葉がありますが、そのあとに続く言葉は「されど空の深さを知る」です。教育の深さを知るにはまだまだですが、垣間見えた空の深さを記憶にとどめ精進したいと考えます。ありがとうございました。

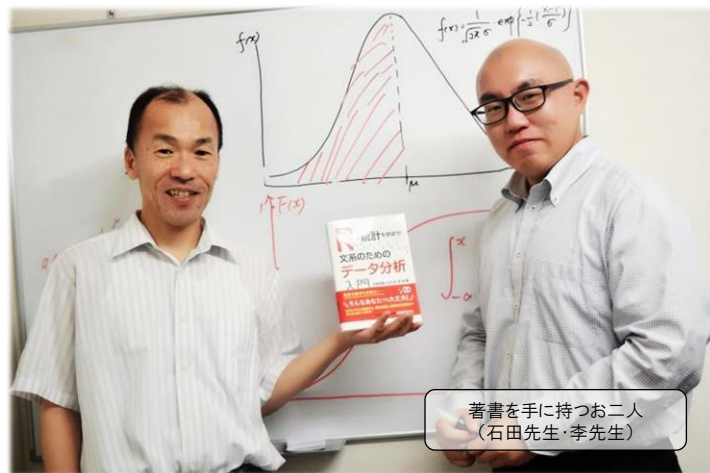


日本マイクロソフト社での政策提言の様子(澁澤先生)

マーケティング学科の中でも統計分析などサイエンス要素の強い科目。統計検定合格者の目標値を大幅に超える合格者を出しただけでなく、受講生が減少傾向にあったサイエンス系科目について独自教材(書籍)や動画を作成し、学科の方針でもあるサイエンス系科目への学生の興味・関心を高めることに大きく寄与しています。今回は取組全体が評価され、お二人での受賞となりました。

Comment

統計の苦手な学生達の悲鳴と非難の声を受けながら、私達はサイエンス教育に取り組んできました。心が折れる間もなく、データ分析という武器を用いてマーケティング課題に取り組む学生の育成が学科のビジョンであると、学生達はすぐに理解してくれました。ロールモデルとなる学生達も育ちました。学科の教員と学生を代表して栄える受賞を嬉しく受け賜われます。



著書を手を持つお二人(石田先生・李先生)

石井 由香理 助教

身近な社会問題について、調査、発表、討論をする力を身につけるゼミナール。学生は「伝える」ために何をすべきかを深く考え、教員のきめ細かいサポートと共に研究を進めます。プレゼンテーションは学生の相互評価を行い質を高めるほか、英語で発表するグループもあるなど高い成果が挙がっています。



Comment

最初に、社会学部の先生方に感謝を申し上げます。特に、昨年・今年度の社会学科の先生方、及び2部運営委員の先生方には大変お世話になりました。それから、試行錯誤する私についてきてくれた学生たちにもお礼を言いたいです。賞をいただいた授業の出発点は、ワクワクできること、でした。例えば、ネイティブの友人の前でプレゼンしている学生たちの姿が浮かんだ時は、いかにも楽しそうで、これを実現するにはどうしたらいいだろうと、周囲の人たちの助けを借りながら具現化していきました。



英語プレゼンテーションの様子(石井先生)

インドネシアのエビの
養殖場にて(寺内先生)



社会学部社会文化システム学科 / 社会文化体験演習

寺内 大左 助教

インドネシアにおけるエビの養殖生産を通じて、経済、環境問題をはじめ、食文化、宗教ギャップと幅広いテーマを班に分かれて調査し、国際理解を深めるゼミナール。フィールドでの体験も通じ、「自文化社会相対化能力」、「異文化コミュニケーション能力」を養います。



Comment

私が担当している社会文化体験演習(国際理解分野)を優秀教育活動賞に選んでいただき、大変光栄に思います。本科目の実施においては1年間を通して複数の学科の先生方からご協力をいただきました。履修生は授業時間外や夏季・冬季休暇も活動に時間を割いて頑張ってくれました。ご協力いただいた先生方、頑張ってくれた履修生のおかげでこの賞を受賞できたと感じています。この場を借りてお礼申し上げます。

ものづくりを行う
授業の様子(新藤先生)



理工学部機械工学科 / 機械工学科における実践的なものづくり教育

新藤 康弘 助教

課題に合った工作物の設計、プレゼン、製作までをグループで行う課題解決型演習科目。材料費も含めた独自の競技点を設定し、現実に近い検討をします。知識だけでなく、技能だけでも、思ったおりにうまくいかない「ものづくり」を、共同作業を通じて身につけることが出来る授業です。



Comment

この度、このような名誉ある賞を受賞することができ、大変光栄に存じます。これもひとえに、日頃の教育指導に関してアドバイスを頂きました機械工学科の先生方のご指導ご鞭撻の賜物だと思います。機械設計法および演習の授業は、学科授業で学んだ知識を生かして、グループで実際にモノづくりを体験していただくPBL形式の授業です。これからも、今回の受賞経験を生かし、学科の特色となるような授業づくりに励みたいと存じます。

電子黒板を使用した
授業風景(吉田先生)



理工学部生体医工学科 / 理工学部における効果的な英語教育の実践

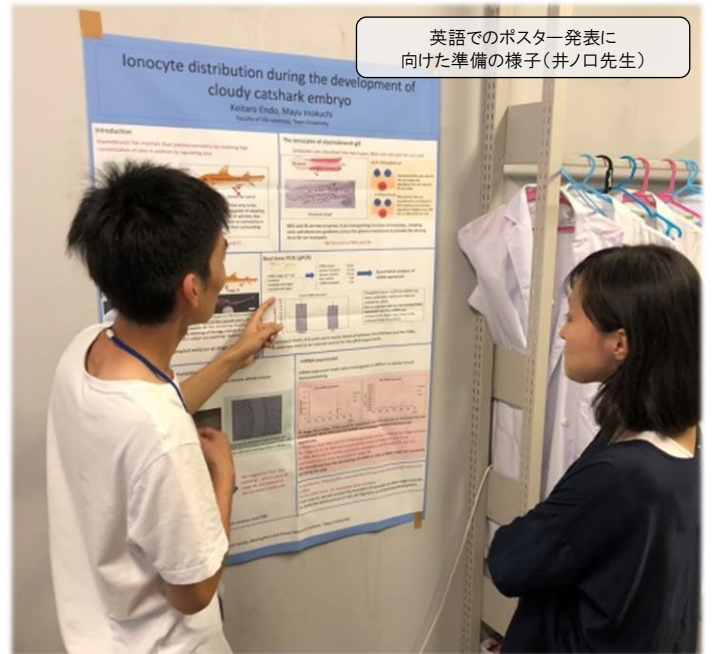
吉田 宏予 教授

理工系の学生が主人公として登場する自著(テキスト)をもとに、単に英語を学ぶのではなく、理工学部の学生がこれからの学びの中で利用する英語表現も学べる科目。吉田先生は、その取組を学部の英語教育全体に広げる活動も実施しています。授業では、現在と未来の英文履歴書やログノートを作成するといったユニークな取組を行っています。

Comment

身に余る賞を頂き恐縮しております。私の活動のほとんどは、学部の先生方、英語教育の非常勤講師の方々、事務局の方々、スタッフの学生の皆様をはじめとする多くの方々の多大なご支援があって初めて成立していますので、聞ける全ての方々に心から感謝申し上げます。今回の受賞を励みに、学生さん一人一人との対話を大切にいき、心の声に耳を傾け、彼らの将来に向けて私の出来る事でサポートを続けていきたいと思っています。

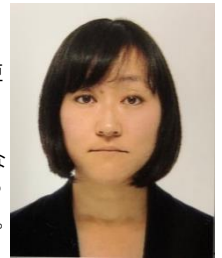
英語でのポスター発表に
向けた準備の様子(井ノ口先生)



生命科学部生命科学科 / 卒業研究(生命)

井ノ口 繭 助教

魚類の恒常性維持機構をテーマに、卒業研究の短い期間でしっかり「科学者」を育てあげるゼミナール。4名の学生に全く違うテーマを与え、実験設計や発表のイロハから細かな添削作業まで、教員が綿密な指導をしています。その成果は国際合同セミナーや日本水産学界のポスター発表等に結実しています。



Comment

この度は平成29年度東洋大学優秀教育活動賞に選出していただき、誠にありがとうございます。卒業研究の中で、日々、学生と生命科学実験を行い、ディスカッションを重ねていくことで、学生と共に私自身も成長できたように思います。これからも、学生に対して、国内のみにとどまらず、海外での研究発表を積極的に促すことで、生命科学の知識や技術を活かして国際社会に貢献できる人材を育てていきたいと思っています。

総合情報学部総合情報学科 / 総合情報学基礎演習Ⅰ・Ⅱ
尾崎 晴男 教授・三原 孝志 教授・安達 由洋 教授
大塚 佳臣 教授・佐藤 忠一 教授・村上 真 准教授
前原 真吾 准教授・椿 光太郎 教授

総合情報学部生に必要な、幅広い知識を網羅したITパスポート試験合格を目指す教育プログラム。一年かけて、学生は理論を学び演習を進めていきます。ITパスポート試験は総合情報学部のディプロマ・ポリシーと親和性が高く、目標にもしやすいため、初年次教育に適しています。少人数教育を実施し、文理融合学部にあつて年間100名以上の合格者を出し顕著な成果を挙げるなど、学部教育の一層の充実に資したと言える教育活動です。

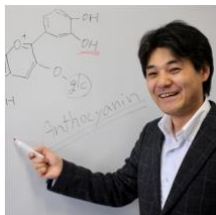
Comment

総合情報学基礎演習Ⅰ・Ⅱは総合情報学部の1年生の必修科目であり、情報技術の基本的な知識の習得を目的とし、ITパスポート試験の教科書を使用して行う授業です。履修者を50名程度のクラスに分け、春学期は教科書を使用した講義形式の授業を主に、秋学期は実際に問題を解く演習形式の授業を行っています。きめ細かい教育の結果、2017年度には112名がITパスポート試験に合格しました。優秀教育活動賞を受賞したことを励みに今後も授業内容・方法を改善して成果を挙げたいと考えています。

食環境科学部食環境科学科 / 食品添加物概論

佐々木 伸大 准教授

食の安全とは？ToyoNet-ACEのresponを活用し、「身近な食べ物の中で食品添加物が入っていない食品はどれか？」といったアンケートをこまめに実施。食品添加物へのイメージを共有しながら役割を学んでいく科目。人類と食品添加物の歴史から、食の安全について社会問題となった具体的な事例の理由や原理を学び、なぜ食品添加物が必要なのか、科学的に安全な食品とは何かなど、深く思考することを意識付ける授業です。



Comment

この度は榮譽ある賞を賜り大変光栄に存じます。食品添加物は身近によく利用されており、現代の加工食品には必要不可欠なものの、誤認されている部分も多い題材です。「manaba」システムを活用して受講生の興味を惹くような、また、身近な食品問題も取り上げつつ分かりやすい講義を目指しております。今後も、今回の受賞を励みにして講義内容の更なる改善を図ってきたいと思います。

国際学部グローバル・イノベーション学科 /

GINOSフレッシューズオリエンテーションキャンプ

今村 肇 教授・花田 真吾 准教授・サム 田淵 教授
佐藤 節也 教授・毛利 正人 教授・ジェームス ハント 講師
迦部留 チャールズ 准教授・横江 公美 教授
ツオイ エカテリーナ 講師

入学してすぐに行われるオリエンテーションキャンププログラム。自身の学習プランを作成させ、グループワークを取り入れチームプレゼンテーションを実施させることで、留学生と日本人学生との連帯感を高めると共に、教育目標でもある実践的な語学教育の一環となるよう工夫がされています。特に平成29年度は学科初年度の難しい中、立ち上げに成功しました。

Comment

今回この賞を頂けたこと、GINOSの学生・教職員一同心から感謝申し上げます。とりわけ運営担当の佐藤節也・迦部留チャールズ両先生、CherylさんはじめGINOSの学生諸君と喜びを共有したいと思います。このFOCIは、GINOSのこれまでにない新たな教育を、日本人学生・留学生諸君と教員がともに形作る出発点として企画し、いまや学科の学習コミュニティとアイデンティティの形成に期待以上の効果を発揮してくれています。何より嬉しいのは、この学生参加型教育の文化が、GINOS一期生から二期生へと着実に受け継がれつつあることです。引き続きGINOSは、学生諸君のクリエイティブなイニシアティブを柱に、グローバル・アントレプレナーシップ育成のエコシステムを形成してまいります。今後ともみなさまのご支援・ご教示をどうぞよろしくお願い申し上げます。

優秀教育活動賞とは？

東洋大学優秀教育活動賞は、平成29年度に新設された制度です。本学で実施されている優れた授業や教育プログラムを表彰し讃えとともに、FD活動等を通じて、優れた取組を全学に普及させるための制度としてスタートしました。

このたび、厳正なる選考の結果、11組27名の先生方の平成29年度の教育活動に対し賞を授与することになりました。他の授業等の模範たり得る事例として、簡単ではありますが、本紙で紹介させていただきます。

東洋大学には優れた教育活動がまだまだ多くあると考えられます。この表彰制度が学内の素晴らしい取組に光を当てるきっかけとなることが期待されます。



竹村 牧男 学長
(選考委員会委員長)



総合情報学基礎演習
担当の先生方



responを活用した
授業の様子(佐々木先生)



フレッシューズオリエンテーションキャンプの中心を担った
迦部留先生・佐藤先生・今村先生と学生団体のCherylさん



オリエンテーションキャンプ
当日の様子(GINOS)